

トピックビュー

円盤投
蓮田ちひろさん
砲丸投
山崎マーク龍也さん



8月4日、町長を表敬訪問
左から 町長、山崎さん、小関先生、教育長

A 関東大会では初めての大きな大会ということで緊張してよい成績が残せませんでした。コンディショニング作りの難しさを痛感しました。全国大会では、関東大会での失敗を繰り

Q 全国大会や関東大会など大舞台に出場しての感想は?

A 9月17日に開催される足柄上・南中学校陸上競技大会に出場し、都市記録の更新を目指しています。

Q 今後の目標は?

顧問の小関先生から

体格に恵まれている（身長が182cm）ので3年生になれば全国大会に行けると思い砲丸投をすすめました。1年半の間、砲丸投と野球部の練習を両立させながらいました。高校生になつてからは新しい指導者に出会い才能をさらに開花させてほしいと思います。

全国大会 出場

山崎マーク龍也さん（文命中学校3年生・上島）

山崎さんは、8月21日に開催された第38回全日本中学校陸上競技選手権大会（奈良市鴻ノ池陸上競技場）に出場しました。予選を10位で通過し、決勝へと進出しました。決勝では残念ながら11位に終わりましたが、14m22cm（自己最高）の記録を出し、大健闘をしました。また、全国大会に先立ち8月9日に開催された第39回関東中学校陸上競技大会（山梨中銀スタジアム）では、24人が参加した中で12m89cmの記録で10位となりました。

蓮田ちひろさん（秦野総合高等学校3年生・宮台）

蓮田さんは、8月に開催された全国高等学校総合体育大会陸上競技大会（インターハイ）へ出場しました。予選では、本来の力を発揮できず、通過はできませんでしたが、5月に開催された第49回神奈川県高等学校総合体育陸上競技大会で優勝、6月に開催された第64回南関東高校総体陸上競技大会（自己最高記録40m26cm）でも優勝を飾り全国大会への切符を手にしました。



県大会での競技の様子



全日本中学校陸上競技選手権大会での山崎さん



A 陸上を続けたいと思っています。やり投や円盤投など他の投てき種目の目にも挑戦したいと思います。また、全国大会で知り合った仲間と一緒に琢磨して記録を伸ばしていくたいと思います。

Q 高校進学後は?

A 砲丸投を始めるきっかけを作ってくれた小関先生や親や友達など応援してくれた、たくさんの人々に感謝しています。

Q 今までお世話になつた人や感謝している人はいますか?

A 陸上競技に誘ってくれた先生方や友達、両親などたくさん的人々に感謝したい。大会の翌日にはみんなが自分のことのように喜んでくれてうれしかった。

Q 今までお世話になつた人や感謝している人はいますか?



県大会表彰式 左端が蓮田さん

A 最初は短距離をやつていましたがその後、先生のすすめでやり投を始めました。やり投の基礎体力作りとして円盤投を練習

Q 円盤投を始めたきっかけは?

A インターハイでの悔しさをバネに、大学へ進学してからも一生懸命練習をしてがんばっていきたいと思います。

Q 高校卒業後は?

高校に入学してから円盤投を始めたため、インターハイに行くか不安はありませんでしたが身体が大きく素質があると思いました。本人の努力によるところが大きく、今後も記録の上積みが十分に期待できると思います。

顧問の西井先生から

高校に入学してから円盤投を始めたため、インターハイに行くか不安はありませんでしたが身体が大きく素質があると思いました。本人の努力によるところが大きく、今後も記録の上積みが十分に期待できると思います。

Q 全国大会（インターハイ）や関東大会など大舞台に出席しての感想は?

関東大会で同じ神奈川県内の高校の選手で上位を独占でき、その仲間たちと一緒にインターハイで戦うことができとてもうれしかったです。

取り入れていきましたが、記録がよかつたので円盤投に専念することにしました。